

に開かざるには、諸君は内力なき者ばかりなりと希ふ。云々

(二) 議長及副議長ノ選挙 (自名者指名)

ハ 議長 長 藤生久氏

四 副議長 板山元次郎氏 松谷正二郎氏

堀 利彦氏 土田白根氏

四 議長候補 藤生久氏

ハ 前略 三党合同が無産階級に如何なる役割を果すか

は、支配階級が全国を支配する事自体が、それと如実

に物詰つてゐる。合同の当初に於ては然らず下の世帯があつたが、

各階級の熱望は今日大衆党の旗の下に集つて其の一政用

つてゐる。ハ中略 又社民各党に如何なる影響

を及ぼすかは、その大衆の内に全合同の叫びがあつてゐる

要するに、即ち無産階級政治の合同への拍車があつたのである。

資本主義の最後は如何か都市であり、農村とあり、今日

此の大会に代表が別々である程、南軍は漸次に捲き起す

と云ふのである。その自由身と富の増えを以て、党自体としても

此の三日間の出来有るを以て、高に重大なる方向へと、軍事に

かう騒がなくては、極端に内して軍部上の叫びが小人事と

切にお祈りする。

(四) 書記任命 (自名者指名) 以下に詳記

(長) 松本清三、南田、岡田、海海、津波、

(三) 各種委員任命

ハ 大会委員 山上及雄、大木、岩内、外三十三名

四 演説委員 小松原、外三十三名